

関係者の皆様

令和6年度に向けた改善策 (学校関係者評価委員会評価結果の報告を受けて)

学校関係者評価委員会委員の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価アンケート、自己評価などのデータをもとに分析検討をしていただき「学校関係者評価委員会報告書」をご提出いただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。

ご提出いただいた報告書をもとに改善策を考え、令和6年度の学校経営に生かしてまいります。

1 学習指導について

・令和5年度もオンライン授業の継続を含め、タブレットなどのICT機器を活用した授業を実施してまいりました。しかし、ICT機器を活用することが目的ではなく、「生徒の学びをどのように促すか」「生徒にどのような力をつけるのか」という観点を踏まえて、今後も生徒の学習意欲を喚起し「わかる授業、できる授業」の実現に向けて努力してまいります。

また、今年度も生徒と保護者の評価結果に差がありました。昨年度までと比べて、学校公開等の機会が増えてきた点から「分からない」という回答が減ってきている状況（それでも3割程度はある）であることを受け止め、より様々な機会を活用して、保護者や地域の皆様にも生徒の学習の様子を知っていただく努力を続けてまいります。

2 生活指導について

・昨年度と同様に、生徒・保護者ともにすべての設問で肯定的評価が高い状況を維持しております。感染症対策における制限も緩和され、生徒は落ち着いた態度で学校生活を過ごすことができました。今後も引き続き一人一人の生徒を大切に、きめの細かな丁寧な指導や支援を組織的に行ってまいります。

しかし、昨年度と同様に生徒による否定的評価が10～15%あることを真摯に受け止め、ルールは一方的に与えられるものではなく、「こども基本法」の理念を踏まえ自分たちで考え作っていくものであること、自ら根拠や影響を考え課題を解決するという指導を心がけてまいります。

3 学校行事について

・今年度はほぼ平常通り行われた状況もあり、生徒・保護者ともに肯定的評価が高い結果となっています。ただし、コロナ禍以前に戻すことが目的ではなく、生徒一人一人の心身の成長に

つながる取り組みであることを基本とし、それぞれの行事の意義、負担等を踏まえて（生徒、保護者等の意見も聞き入れながら）見直し、精選に取り組んでまいります。

4 キャリア教育について

・昨年度実施できなかった2年生の職場体験が実施できたことと、キャリアパスポートの活用が小学校時代から導入されていた状況などから肯定的評価が増えてきている状況があります。しかし、キャリアパスポートに関して「分からない」が1年生保護者の3分の1となっている状況（アンケートを実施した時期の問題もあるかと思われるが）を受け止め、有効な活用方法を検討していくことと、キャリア教育に関する丁寧できめ細かい説明を生徒・保護者に行ってまいります。

5 教職員について

・「先生たちは、生徒が相談しやすい」に対して保護者の肯定的評価が高まったことに関しては、今までに比べ直接来校できる機会が増えてきたてんも影響していると思われます。しかし、生徒の否定的評価が30%あることは真摯に受け止め改善を行うとともに、様々な不安やストレスを抱えている生徒・保護者に寄り添いながら、相談しやすい雰囲気を学校全体で作り上げ、引き続き丁寧な指導を心がけてまいります。

6 全般について

・生徒の「学校生活は、楽しい。」「学校生活は達成感がある。」という設問に対する肯定的評価は高い状態を維持しているが「学校が楽しい」に対して否定的評価が1年生で11%、2年生で19%あること（2年生は昨年度も同様に否定的評価が高かったこと）は真摯に受け止めてまいります。多くの生徒にとって楽しく達成感を感じられる学校生活を継続するため、今後も引き続き教職員が一丸となって教育活動を推進してまいります。

7 部活動について

・生徒、保護者ともに「部活動は楽しい」「部活動は達成感がある」の両設問で肯定的評価がやや減少しています。今後も外部指導員等も活用しながら、部活動の意義を踏まえ、生徒にとって魅力ある活動、心の成長につながる活動になるよう努めてまいります。

8 学校からの情報提供について

・肯定的な評価が増加いたしました。今後も的確でタイムリーな情報発信を、印刷物、ホームページ、すぐーる等、その時々によさわしいツールを活用して発信し、本校の教育活動についてのご理解をいただく努力をしてまいります。

9 学校運営について

・昨年度より肯定的な評価が増加しました。学校行事等において制限が減少し、直接、来校していただける機会が増えたことが一因であるととらえています。また、「8 学校からの情報提供について」とも関連しますが、今後も学校の教育方針や指導の重点等についても積極的な情報発信を心がけてまいります。

10 家庭と学校との連携について

・すべての項目において昨年度より肯定的評価が高くなっている。「新型コロナウイルス感染症」が5類に移行したことにより、保護者・地域の皆様に実際にご来校いただく機会が増加してきている影響が大きいと思われまます。しかし、指摘にあるとおり「学校の指導の重点を理解している。」に対する肯定的評価が半分に達していない状況を受け止め、情報提供を含め方策を検討して参ります。令和6年度も引き続いて、その時々で様々な工夫をしながら家庭と学校が同じ方向を向いて、生徒の成長のために連携をしながら教育活動を推進してまいります。

11 地域連携について

・地域行事が少しずつ行われるようになり、肯定的評価も増加してきていますが、依然として「分からない」の割合が多くある状況です。地域行事やボランティア活動に対する意識の高い生徒が多いのも本校の特長です。今後も各種ボランティア活動への参加を積極的に奨めるとともに情報発信に努め、地域との連携を進めてまいります。

12 学校の安全性について

・全般的に肯定的評価が多い結果となっています。今年度は校舎を地域避難所として活用するための耐震工事が実施されました。今後も日頃の避難訓練や安全指導を通して、安心安全な学校生活を送れるように指導してまいります。

13 学校独自項目(生徒・保護者・地域)に関して

1 教育目標について(保護者・地域)

・学校は教育目標の具現化に向けて日々の教育活動を推進しています。今年度は肯定的評価が地域においては昨年度と同程度、保護者においては昨年度より高い評価となりました。今後も教育目標の具現化に向けた重点目標等を適切に設定し、それらを意識した教育活動を推進してまいります。

2 駒留中学校の学習指導について(生徒)

・全体として概ね肯定的評価が80%以上であり、学年・教科による大きな差はない状況であることは、研修を計画的に実施した成果ととれますが、甘んじることなく工夫・改善に努め、

生徒の学力向上に向けて、一層の授業改善に向けて取り組んでまいります。

◎ おわりに

アンケートの結果から「新型コロナウイルス感染症」による様々な制限が解除される中で、創意工夫を凝らしながら取り組んできた学校の取組に対し、一定の評価をいただいていると感じています。しかし、重点目標としながら、生徒理解において「先生たちは、生徒が相談しやすい」に対する評価、キャリア教育に関する「自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある」に対する生徒評価の不十分な点を真摯に受け止め、本校の良き伝統と校風の下、地域に根ざし地域とともに地域から信頼される学校を目指し、生徒・保護者、教職員そして多くの地域関係者の皆様と力を合わせ、さらに成長・発展する駒留中学校になるよう引き続き努力してまいります。

今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。